

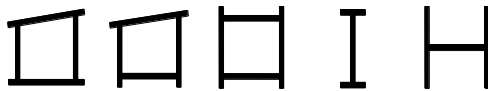
JSP-15W 鋼アーチ橋の概略自動設計

概要

JSP-15W は、道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)に基づき、鋼アーチ橋(上路・下路・中路)の概略設計(断面力算出、耐荷性能照査、疲労照査、数量計算、工数積算)を一貫して行います。

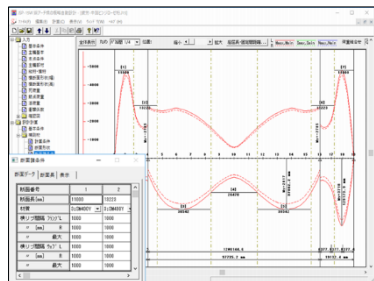
特長

- ① 鋼道路橋数量集計マニュアル(案)(平成 15 年 7 月改訂版)に対応しています。
- ② 疲労照査を行います。
- ③ 純断面積の割増し係数(1.1 倍)を考慮できます。
- ④ 支点条件を変更することができます。
- ⑤ 吊材・鉛直材・斜材の部材追加、部材削除および部材変更をマウスで簡単に行えます。
- ⑥ 上路式のみ吊材・鉛直材・斜材の結合条件を、両端別にピン結合／剛結合より選択できます。
- ⑦ 下路式トラスドランガー桁・ニールセンローゼ桁の場合、端吊材形状を鉛直／斜材より選択できます。
- ⑧ 活荷重は以下より選択できます。
 - ◆B 活荷重-L, T, TL
 - ◆A 活荷重-L, T, TL
 - ◆歩道橋(群集荷重)
 - ◆活荷重無し
- ⑨ 節点荷重を左右主構について各横断毎に考慮できます。
- ⑩ 横断面形状の一定／変化を考慮できます(ゆるいカーブに対応できるように橋面位置の指定および車道幅員拡幅を考慮できます)。
- ⑪ 主構断面は以下より選択できます。

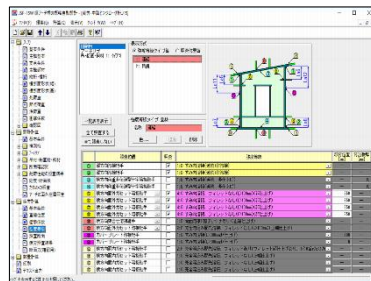


- ⑫ 主構断面のタイプにより、上フランジが傾いた形状や自動計算時の板厚の外逃げ／内逃げを考慮できます。
- ⑬ ウェブの制限値および板厚は以下より選択できます。
 - ◆道示 II 5. 4
 - ◆道示 II 13. 4. 2 の表-13. 4. 1

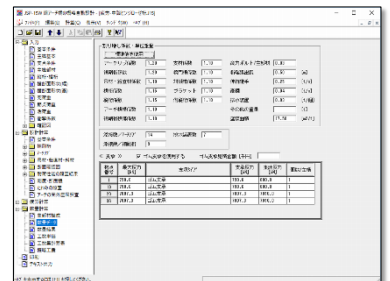
画面例



設計計算／補剛桁一断面諸条件



疲労計算／強度等級



数量計算／数量データ

制限

格点数	: 500 格点	縦桁本数	: 20 本
部材数	: 1000 部材	主構本数	: 2 主構
パネル数	: 99 パネル／支間		

動作環境

Windows 8.1/10

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

使用許諾料	1,200,000 円 (税込価格: 1,320,000 円)
追加 1 ライセンス料	120,000 円 (税込価格: 132,000 円)
サポートサービス料(必須)*1	80,000 円 (税込価格: 88,000 円)/年間

*1 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。